

## 大阪北部での地震を受けて・・・ 所沢は大丈夫？

大阪北部を震源とする震度6弱の地震は、都市部に大きな爪痕を残す被害となりました。災害に弱いとされる都市部では、様々な観点からいつ起きるともわからない大地震への対策が求められています。大阪の地震では高槻市の学校のプールブロック塀が崩壊し、犠牲者が出るという悲惨な事態となりました。

所沢市においても、古い構造の塀など、安全性に問題がないか、全ての公共施設の緊急点検を要望いたしました。現在、学校のブロック塀取り壊しなど対策が進んでいます。



## 国との連携で政策の加速を！

市議会議員として地域の様々な課題解決に奔走している中、痛感するのは、現在では地域に存在する課題に対し有効な解決策を導き出すためには、地方行政や国政の垣根を超えた連携が必要なことばかりということです。そのため、市議会議員でありながら、国の法律改正や制度改正について常にチェックし最新動向を把握していなければなりません。

所属会派：自民党・無所属の会では、政策研修として霞が関の中央官庁を訪問し、政策の最新状況の解説を受けたり、国と地方自治体との連携や地域現場からの実体験をもとに要望するなどの意見交換を行いました。

今回は、

### 【厚生労働省】にて

- ・「地域包括ケアシステム」の都市部での運用事例
- ・「待機児童対策」の先進事例

### 【文部科学省】にて

- ・「子ども子育て支援」（幼稚園と保育園の連携）

### 【警察庁】にて

- ・東京オリンピック・パラリンピックのテロ・警備対策の地方自治体の役割
- ・通学路の安全確保や防犯カメラの運用について

など、国政の動向を調査し地域実情を伝えました。政策課題に国と地方自治体の連携が必要となるテーマを中心に定期的に政策研修に努めています。



## 石原たかしプロフィール

- 1988年12月7日生まれ（所沢生まれ所沢育ち）
  - 私立マルハ幼稚園卒園
  - 所沢市立中新井小学校（現・中央小学校）卒業
  - 所沢市立美原中学校卒業
  - 私立狭山ヶ丘高等学校卒業
  - 早稲田大学 社会科学部（政治学ゼミ）卒業
  - 飯能信用金庫に勤務（一般のご家庭や中小企業を担当）
  - 2012年結婚
  - 所沢の未来に責任を果たすため立候補を決意 —
  - 2015年4月 所沢市議会議員選挙にて初当選（最年少！）
- 夫婦共働き、二児のパパとして奮闘中です！**



地域のイベントで柴山代議士と

所沢市議会議員

# 石原たかし

# きちん！と

現職市議会  
最年少 29歳!

## 議会報告

Vol.13  
2018

後援会事務所 〒359-1111 所沢市緑町1-5-7-506 電話/FAX 04-2925-1155  
連絡所 〒359-1141 所沢市小手指1-42-6-3F  
URL <http://t-ishihara.jp/> または [石原 たかし](#) 検索 発行：石原たかし 討議資料

## ごあいさつ ～市議会では人事異動がありました～

6月・7月に開会された定例議会において市議会では新たな役員人事がありました。市議会議員の任期残り期間1年弱の役職が決まりました。私、石原たかしは新たに議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する事項（議会改革など）に取り組むことになります。またこの度、新たに設置された第6次所沢市総合計画特別委員会の委員も務めることになりました。「総合計画」とは、自治体における全ての計画の基本となる最上位の計画のことで、特別委員会では今後8年間にわたる所沢市政の計画案を集中的に審査することになります。4年間という市議会議員一期目の任期も、残すところわずかとなりました。限られた時間ですが、「きちん！」と成果を残していけるように、全力で日々の公務・政務に取り組んで参ります。

## 所沢市議会の議会改革について

先ごろ、早稲田大学マニフェスト研究所が実施する「議会改革度調査ランキング（2017）」の結果が公表されました。調査対象となった1318もの議会の中で、所沢市議会は「住民参加」や「機能強化」が評価され、順位としては総合23位となりました。議会改革ランキングの結果のみに一喜一憂することが全てではありませんが、客観的な基準で好評価を受けたこととなります。

ときに、点数やランキングで発表される「議会改革」ですが、私、石原たかしは議会改革の本当の目的は「市民と議会の距離を縮めること」であると考えます。自治体に普段から改革を迫り、訴えている議員の立場であるからこそ、議会改革でも本質を見誤ることなく、取り組まなければならないと考えています。時に抵抗や、旧態依然とした慣習が立ち上がることも予想されますが、これからも「政治家は名誉職ではない！」この信念を常に貫き、前へ進みます。

今議会のきちん！と一般質問は裏面へ

# 石原たかしのきちん！と一般質問

## 人口減少社会！ファミリー世代に優しい都市づくりを！

全国各地の自治体が人口減少社会への対策を行う中、所沢を含む首都圏では、都市部ならではの自治体同士の人口獲得の競争が激しくなっています。

将来にわたり、行政サービスや福祉を維持するためには、生産年齢人口の確保が必要です。

今回の一般質問では、人口減少対策について、具体的な提案をしました。

- ・ファミリー世代にとってメリットが感じられるような独自の政策（充実した小児救急医療体制など）の発信を！
- ・また企業誘致で働く場の創出とともに、環境や利便性の向上で「働きやすさ、住みやすさ」を感じられる都市づくりの推進を！
- ・所沢の住みやすさ働きやすさの魅力を外部へPRする専門部署を創設し、人口増加のため積極的なシティープロモーション活動を！

### 【行政からの答弁】

人口の将来見通しを作成し、企業誘致、雇用創出を進めていますが、今後は石原議員ご指摘の通り、ファミリー世代の定住促進とともに、市外にも所沢の魅力を積極的にPRし、人口の確保に努めて参ります。

## 集合住宅の高齢社会対策を急がねば！

進行する高齢社会から生じる福祉の問題が、地域の中でも目立つようになりました。特に、近隣関係の難しい集合住宅ではさらに問題を深刻化させています。

市営住宅や公団住宅などを含め、所沢市内には大規模な集合住宅が多数存在します。

空き部屋に医療・介護サービスを入居誘致し、地域ケアの核として「見守り」や「介助」などの支援の在り方の研究を進めることが効果的であり、地域特性に特化した対策が有効と考えます。

そうした高齢者支援を周辺地域に波及させ、「まちごとケア」ができるような対策が必要であると訴え提案しました！

### 【行政からの答弁】

所沢市として高齢社会対策を講じている中で、集合住宅が直面する現状に焦点を当てた調査や把握はしていないものの、議員ご指摘の情報収集と課題の把握に努めます。市内に集合住宅を有するUR都市機構との連携も深めたいと考えています。

## 要望していた期日前投票所の改善が実現へ！

昨年的一般質問でも要望しましたが、期日前投票所の大混雑の原因をきちんと検証し、原因を明らかにして具体的な対応から解決へ向けての方策は検討できたのでしょうか。

来年は、公職選挙が5種類も予定されています。そうした時期に間に合うように選挙の施行に合わせて対策が必要と考えます。また行政機関のみでの期日前投票所の運営が困難であれば民間施設の協力を得る方法を検討してほしいと主張しました。

### 【行政からの答弁】

昨年の総選挙の際の期日前投票所の大混雑の改善として、投票スペースの見直し、事務機器の増設、人員の増員といった対策をとることにしました。民間施設の利用については、予備の投票所としての可能性として考えます。

## 小手指ヶ原公園計画の早期推進を！

現在所沢市は、環境分野の先進都市を目指し、様々な新しい取り組みを行っています。そこで、平成11年に基本計画が決定された「小手指ヶ原公園計画」を進め、人と自然の共生が体験できる大規模自然公園の整備を早急に実現すべきです。また近年では体験型観光やインバウンドといった海外からの観光も期待できます。自然の中の「公園レストラン」の設置など、小さな子どもからお年寄りまで楽しめる公園計画であるため、着手できる部分から実現するべきと訴えました。

### 【行政からの答弁】

計画決定から時間が経過している事は課題として認識しています。公園計画に現代的なアレンジを加えより良いものとして、少しでも早く推進できるように準備して参りたいと考えます。

# 6月7月議会の重要審議事項

## 【日本初！EV燃料電池動力のゴミ収集車が導入されます！】

東部クリーンセンターのゴミ焼却熱を利用して発電して作られた電力を、給電・蓄電システムを備えた電気(EV)式ゴミ収集車の動力とします。エネルギー循環型ごみ収集システムを構築し、収集運搬業務における低炭素化(CO2削減)を行います。

また、電気(EV)式ゴミ収集車に用いられる蓄電池は、災害時には非常用電源として活用することもできます。自治体が電気(EV)式ゴミ収集車を導入するのは、日本初の事例となります。



## 【環境政策分野でスロバキアと国際都市間協力が締結されました！】

EU(欧州連合)が実施する環境分野での国際都市間協力「IUCプロジェクト」に所沢市が参加し、スロバキアの首都：ブラチスラバと国際都市間協力の連携パートナーとなりました。

「気候変動適応策」、「都市における自然に根ざした課題解決及びスマートエコシティづくり」の二つのテーマで連携していくこととなります。

「まちごとエコタウン」を掲げ、様々な先進的な環境政策に取り組んできた所沢市ですが、このプロジェクトを通じて、所沢の取り組みを世界に発信できるチャンスであり、また世界から先進的な課題解決策を学ぶチャンスでもあります。



ブラチスラバ市

## 特集

## 早急に交通事故防止対策を！



## 各地域そして各家庭での対策を！

2018年に入り、6月時点で所沢市では残念ながら交通死亡事故が6件となり、非常に早いペースで発生しています。

所沢市では埼玉県知事より「交通事故防止特別対策地域」に指定されたことを受け、「所沢市交通事故防止特別対策推進計画」を策定し、事態に早急に対処し、交通事故防止取り組みが実施されています。高齢者や子供を痛ましい交通事故から守るためにも、各地域での取り組みに加え、各家庭でも交通事故防止についてご注意を頂きますようお願いいたします。

## 交通安全・事故防止に横断的な総合窓口を！

普段、市民の皆様から交通安全、道路の危険箇所などについて幅広くご相談やご意見を頂いています。今回の一般質問の中でも触れましたが、交通事故防止に関しては、市役所では、交通安全課のほか、カーブミラーや道路の危険は建設部道路維持課、通学路などは教育委員会、信号機や標識、交通規制は警察署と、交通安全と言っても様々な担当部局に別れており、相談や問い合わせなどの時に、どこが窓口なのか戸惑われる方がたびたび見受けられます。

石原たかしとしては、行政機構の中に、総合的に事故防止について相談を受け付け、部局を横断して交通安全対策を立案する「交通安全対策本部」の設置を提案していきます。